

厚生労働科学研究費補助金【エイズ対策政策研究事業】
HIV 検査体制の改善と効果的な受検勧奨のための研究
(分担) 研究報告書

効果的な HIV 検査受検勧奨にかかる普及啓発の研究
(インターネットサイトの活用)

研究分担者 佐野 貴子 (神奈川県衛生研究所)
研究協力者 土屋 菜歩 (東北大学 東北メディカル・メガバンク機構)
研究協力者 須藤 弘二 (株式会社ハナ・メディテック)
研究協力者 近藤真規子 (株式会社ハナ・メディテック)
研究協力者 星野 慎二 (特定非営利活動法人 SHIP)
研究協力者 井戸田一朗 (しらかば診療所)
研究協力者 清水 茂徳 (東日本国際大学)
研究協力者 生島 嗣 (特定非営利活動法人 ふれいす東京)
研究協力者 岩橋 恒太 (特定非営利活動法人 akta)
研究協力者 杉浦 太一 (株式会社 cinra)
研究協力者 今井 光信 (田園調布学園大学)
研究協力者 加藤 眞吾 (株式会社ハナ・メディテック)
研究協力者 市川 誠一 (金城学院大学)
研究協力者 白阪 琢磨 (独立行政法人国立病院機構大阪医療センター)
研究協力者 今村 顕史 (東京都立駒込病院)

研究要旨

HIV 検査情報の効果的な普及啓発手段の一つであるインターネットを活用して、保健所等 HIV 検査相談施設情報や HIV/エイズの基礎知識などを継続的に提供することにより、HIV/エイズの知識普及や理解促進、HIV 検査希望者への受検サポートを目的としたウェブサイト「HIV 検査・相談マップ」(<https://www.hivkensa.com>) の管理運営とその利用状況と効果の研究を行った。また、近年の梅毒感染者の急増状況を踏まえ、性感染症検査の施設情報検索や知識普及を目的としたウェブサイト「性感染症検査・相談マップ」(<https://www.stikensa.com>) を新たに作成し、2024 年 3 月に公開を行った。

本年度は「HIV 検査・相談マップ」の情報提供効果を調査するため、アクセスアナライザーで利用状況の解析を行うとともに、保健所等 HIV 検査担当者へのアンケート調査を行った。また、新型コロナウイルス感染症流行に伴う保健所等 HIV 検査事業の中止・縮小状況の調査を行った。

2023 年の年間サイトアクセス数は約 118 万件であり、前年と比較して 5%の増加となった。その要因としては、新型コロナウイルス感染症が 2023 年 5 月に 5 類感染症へ移行したことにより保健所等 HIV 検査の再開が進み、施設検索数が増加したことが考えられた。2023 年の保健所等 HIV 検査の中止・縮小割合は、3 月末時点では HIV 検査施設数で 12%であったが、12 月末時点では 1%にまで低下した。

当サイトへのアクセス方法は検索エンジン経由が 88%、直接アクセスが 9%であった。2023 年に検索エンジンから当サイトにアクセスする際に多く使用された検索用語は、「HIV」、「エイズ」、「HIV 検査」の順で、これらの用語での検索エンジンでの平均掲載順位は 1.1~2.5 あった。サイトコンテンツのページビュー数は「全国検索結果一覧」、「HIV・エイズって何?」、「これって、性感染症?」の順で多く、梅毒関連報道に伴い性感染症情報ページの閲覧数も多かったものと思われた。

保健所等への HIV 検査相談に関するアンケート調査では、当サイトを閲覧したことがある担当者は保健所で 93%、特設検査施設で 88%、当サイトが HIV 検査相談事業に役立っていると回答した担当者は保健所で 76%、特設検査施設で 82%であった。保健所では、昨年度と比較して閲覧経験と事業に役立っていると回答した担当者の割合が増加していた。

2001 年に HIV 検査研究班の公式サイトとして開設以来、2023 年末までに合計 2,780 万件のアクセスがあった。当サイトは保健所等 HIV 検査相談施設の情報を多く掲載しており、自治体の HIV/エイズ情報サイト、日本赤十字社の献血者への配布文書、NPO・民間企業等が作成する啓発用パンフレットなどで多方面に紹介され、行政的にも有効活用されている。今後も正確で信頼される HIV 検査情報を提供していくとともに、HIV/エイズの理解促進と、検査希望者の受検アクセス向上に寄与したい。

A.研究目的

インターネットを介して保健所等HIV検査相談施設の検査情報やHIV/エイズの基礎知識などを継続的に提供し、検査希望者への情報提供と受検サポート、HIV/エイズの理解促進を目的としたウェブサイト「HIV検査・相談マップ」

(<https://www.hivkensa.com>) の管理運営とその利用状況と効果に関する研究を行った。本サイトの情報提供効果を調査するため、アクセス解析や保健所等職員へのアンケート調査を行い、当サイトが有効利用されているかを評価した。また、近年の梅毒感染者急増への対応として、性感染症検査の施設情報検索や知識普及を目的としたウェブサイト「性感染症検査・相談マップ」(<https://www.stikensa.com>) の新規作成を行った。

B.研究方法

1. 新規情報掲載、情報修正作業

保健所等HIV検査相談施設で実施されている常設検査の情報や不定期に実施される検査イベントの情報、また、HIV/エイズに関する基礎知識等について、ウェブサイト「HIV検査・相談マップ」に掲載し、情報提供を行った。PCサイトは2001年9月、携帯電話サイトは2003年4月に開設し、2009年10月にはPCサイトおよび携帯電話サイトのリニューアル、2013年はスマートフ

とスマートフォンサイトについてトップページ操作性向上のためのレイアウト変更を行った。

2021年3月にはサイトの全面リニューアルとして、コンテンツ管理システム（CMS）の変更および新規デザインの作成を行い、レスポンシブ対応のリニューアルサイトを公開するとともに、携帯電話サイトの運用を終了した。

定期更新作業としては、2024年3月に新年度の検査日程等の情報確認のため、自治体156箇所および医療機関51箇所に新年度情報確認依頼文書を送付し、3月中旬から修正作業を順次実施した。また通年の作業として、検査施設の新規掲載、掲載情報修正および検査イベント情報の掲載等を行った。

また、今年度は性感染症検査の施設情報検索や知識普及を目的としたウェブサイト「性感染症検査・相談マップ」(<https://www.stikensa.com>) の新規作成および公開を行った。

2. 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う自治体 HIV検査の実施状況調査

2020年1月に新型コロナウイルスの国内初感染事例の報告があり、2月には感染症法の指定感染症に位置づけられた。3月には新型インフルエンザ等対策特別措置法の対象となり、2021年2月には感染症法の改正により新型インフルエンザ等

感染症（いわゆる2類相当）に位置づけられた。2020年4月以降の感染拡大によって2021年9月までに3回の緊急事態宣言が発令された。2022年も感染流行が継続したが、3月にまん延防止等重点措置が終了となり行動制限が緩和され、7月には第7波が生じて9月に収束した。9月26日からは全数届出の見直しがあり、保健所等HIV検査の再開が進んだ。再び11月からは第8波が生じ2023年2月に収束した。2023年5月8日には5類感染症へ移行し、一律に基本的感染対応を求められなくなったことにより、保健所等HIV検査の再開がさらに進んだ。しかしながら、その後も新型コロナウイルス感染症は7月から第9波、2024年1月からも感染流行が生じていることから、HIV検査の中止または縮小の措置を行った自治体数やHIV検査施設数の調査を継続した。また、HIV検査再開情報等をインターネット上の全国自治体サイトのHIV検査情報ページで閲覧調査し、随時情報修正作業を行った。

3. サイト利用状況の調査 ― Web解析―

本サイトのアクセス解析には「Google Analytics」および「検索順位ツールGRC」を用いた。Google Analyticsは2023年7月1日からユニバーサルアナリティクス（UA）からGoogleアナリティクス4（GA4）に切り替わり、ページビューのセッション単位からユーザーのイベント単位でデータを計測する分析ツールとなった。これまで本サイトで解析してきたセッション数の収集が可能なデータもあったが、収集できないデータもあり、一部の解析はセッション単位からユーザー単位の解析に切り替えた。①サイトアクセス数（セッション数：年別、月別、日別）、②セッション数とユーザー数の年次推移、③情報端末別ユーザー割合、④チャネル別ユーザー割合、⑤検索エンジン（Google）での検索

クエリ別順位、⑥参照元からのアクセス数、⑦サイトコンテンツの表示回数、⑧アクセス地域およびアクセス言語、⑨外国語ページのページビュー数を調査し、利用者の動向およびHIV/エイズ関連報道によるアクセス数の影響等を解析した。

4. サイト活用状況の解析 ― アンケート調査 ―

保健所・検査所における HIV 検査・相談体制に関する調査（研究分担者 土屋菜歩先生）において、保健所および特設検査施設の HIV 検査担当者に対し、当サイトの利用状況や HIV 検査相談事業への活用等に関するアンケート調査を実施した。

C.研究結果

1. 新規情報掲載、情報修正作業の状況

2023年は保健所等HIV検査相談施設663箇所の検査情報の掲載を行い、検査イベント情報依頼163件、情報修正依頼421件の更新作業を行った（図1）。新規作業としては、「HIV検査・相談マップ」の姉妹サイトとのコンセプトで、性感染症検査の施設情報検索や知識普及を目的としたウェブサイト「性感染症検査・相談マップ」（<https://www.stikensa.com>）の新規作成を行い2024年3月末に公開を行った（図2）。

2. 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う自治体HIV検査の実施状況調査

2020年1月以降の新型コロナウイルス感染症による保健所業務量の増加により、保健所・特設検査施設のHIV検査の中止が続いたことから、2020年4月よりサイト上に自治体HIV検査を受検する際の注意事項をポップアップで表示させていたが、2023年5月の感染症法上の5類移行に伴い自治体HIV検査の再開が進んだことから、サイト上の自治体HIV検査を受検する際の注意事

項のポップアップ表示を削除した。また、HIV検査再開情報等をインターネット上の全国自治体サイトのHIV検査情報ページで閲覧調査し、随時情報修正作業を行った。その際、検査中止・縮小措置を行っている自治体数およびHIV検査施設数を集計したところ、2023年でHIV検査を中止または縮小した自治体数の割合は、1月末時点で26%、3月末時点で22%、5月末時点で10%、12月末時点で2%であり、HIV検査施設数での割合は、1月末時点で14%、3月末時点で12%、5月末時点で6%、12月末時点で1%であった。2023年5月8日の感染症法上の5類移行に伴い、5月末でHIV検査施設数の中止・縮小割合が1割を超えていた東北と九州・沖縄ブロックは、12月末ではそれぞれ2%と0%にまで低下した（図3-6）。

3. サイト利用状況の調査 ― Web解析―

PC サイト、スマートフォンサイトおよび携帯電話サイトでの 2001 年からの合計アクセス数は約 2,780 万件となった（図 7）。2023 年の年間サイトアクセス数（セッション数）は約 118 万件であり、前年と比較して 5%の増加となった。Google Analytics は 2023 年 7 月 1 日から UA から GA4 に切り替わり、ページビューのセッション単位からユーザーのイベント単位でデータを計測する分析ツールとなったことから、セッション数およびユーザー数の年次推移を見たところ、2020 年以降、ユーザー数はセッション数の約 8 割であり、2023 年のユーザー数は 2022 年の 2.6%の増加であることが分かった（図 8）。

2023 年の月別アクセス数（セッション数）は、1～6 月は 2022 年の同月を上回り推移したが、7 月以降は 2022 年を下回った（図 9）。日別のユーザー数では、4 月 21 日に 7,040 件のアクセスがあり、「HIV/エイズって何？」ページの閲覧数の

増加が見られた（図 10）。5 月 29～30 日は一日あたり約 8,000 件のアクセス数があり、「HIV・エイズって何？」ページの閲覧数の増加が見られ、Yahoo!ニュース「沖縄県 50%超がエイズ発症後に判明」の記事に反応したものと考えられた。

情報端末別ユーザー数の割合は、スマートフォンからのユーザー数が 85%を占めた（図 11）。チャネル別ユーザー数の割合では、検索エンジンからのアクセスが 88%、直接アクセスが 9%、他サイトからのアクセスが 3%、SNS からのアクセスが 0.3%であった（図 12）。

検索エンジン（Google）における検索クエリ別の月別検索順位をみたところ、「HIV」では通年で 1 位、「エイズ」では 1～3 位、「AIDS」では 2～6 位、「性病」では 2～5 位、「梅毒」では 9～55 位で推移した（図 13）。「HIV」、「エイズ」、「AIDS」と「検査」の用語の組み合わせ、また、「HIV」と「test」の用語の組み合わせではすべて 1 位に表示された。「HIV」、「検査」、「キット」の用語の組み合わせでは、通年で 4～11 位であった。

検索エンジン（Google）での検索に用いられたクエリ別の順位を 10 位まで調査したところ、2023 年に検索エンジンで当サイトを閲覧する際に一番多く使用された検索用語は「HIV」であり、以下、「エイズ」、「HIV 検査」、「エイズとは」、「HIV とは」の順で、これらの用語での検索エンジンでの平均掲載順位は 1.1～2.5 であった（図 14）。また、5 位以降には「性病検査」、「性病」、「エイズ症状」、「HIV 心配しすぎ」、「性病検査 無料」と続き、検索用語の平均掲載順位は 3.1～6.3 であった。

参照元からのユーザー数を見たところ、Google 検索からが最も多く約 66 万件、Yahoo! JAPAN 検索からが約 15 万件、直接アクセスが約 8.7 万件であった（図 15）。

サイトコンテンツの表示回数は 203 万件で、一

番よくみられたページは「全国検索結果一覧」で約 39 万回、2 位が「HIV・エイズって何？」で約 31 万回、3 位が「これって、性感染症？」で約 25 万回であった（図 16）。

検査・相談施設別表示回数では、「chot CAST（大阪検査相談・啓発・支援センター）」が最も多く、次いで「東京都新宿東口検査・相談室」、「札幌市中央保健センター」、「神戸市保健所」、「福岡市博多区保健福祉センター」と続いた（図 17）。

当サイトへのアクセス地域は、日本からが 93 万人、米国 2,684 人、中国 2,088 人であった。アクセス言語では、日本語が 91 万人、英語が 25,107 人、中国語が 6,167 人であった（図 18）。外国語ページ（英語、スペイン語、タイ語、タガログ語、ベトナム語、ポルトガル語、韓国語、中国語およびやさしい日本語）のページビュー数は、英語ページが 7,533 件、ベトナム語が 1,986 件、やさしい日本語が 1,489 件、中国語が 1,198 件であった（図 19）。

4. サイト活用状況の解析 — アンケート調査 —

全国保健所および特設検査施設に対して実施した HIV 検査相談に関するアンケート調査において、当サイトの利用状況や HIV 検査相談事業への貢献度に関する質問を HIV/エイズ対策担当者に質問した。「当サイトを閲覧したことがあるか」の設問に対しては、「ある」との回答は保健所 93%、特設検査施設 88%（図 20）、「当サイトが事業に役立っていると思うか」の設問では、「思う」の回答は保健所 76%、特設検査施設 82%であった（図 21）。

D. 考察

2023 年のサイトアクセス数は約 118 万件であり、前年と比較して 8%の増加となった。その要

因としては、新型コロナウイルス感染症が 2023 年 5 月に 5 類感染症へ移行したことにより保健所等 HIV 検査の再開が進んだことが考えられた。2023 年の保健所等 HIV 検査の中止・縮小割合は、3 月末時点では HIV 検査施設数で 12%であったが、12 月末時点では 1%にまで低下した。新型コロナウイルス感染症は 7 月から第 9 波が生じたが、保健所等 HIV 検査施設の中止・縮小は見られなかった。2024 年 1 月からも感染流行が生じているが、検査中止・縮小等を含め検査機会の動向把握に努めたい。

情報端末別ユーザー数の割合は、スマートフォンからのユーザー数が 85%を占めており、スマートフォンでの表示を主としたサイト構成が重要と思われた。チャネル別ユーザー数の割合では、検索エンジンからのアクセスが 88%、直接アクセスが 9%、他サイトからのアクセスが 3%、SNS からのアクセスが 0.3%であり、SNS からのアクセス割合が依然として少ないことが分かった。SNS で当サイト情報を共有してもらいやすいよう、さらに検討していく必要があると思われた。

2023 年に検索エンジンで当サイトを閲覧する際に多く使用された検索用語の上位 10 語は「HIV」、「エイズ」、「HIV 検査」、「エイズとは」、「HIV とは」、「性病検査」、「性病」、「エイズ症状」、「HIV 心配しすぎ」、「性病検査 無料」の順であった。サイトコンテンツで一番よくみられたページは「全国検索結果一覧」、「HIV・エイズって何?」、「これって、性感染症?」の順であり、検索用語との関連が見られた。2022 年に一番多かった検索用語は「性病 症状」であり、一番よく見られたサイトコンテンツは「これって性感染症?」であったことから、2023 年は他のサイトでも性感染症に関するページが多く作成・公開され、閲覧者が分散したことが示唆された。

参照元からのユーザー数は検索サイトからが

ほとんどを占めたが、X（旧 Twitter）リンクからのアクセスも見られた。さらに SNS リンクからのアクセス数を増加させる方法を検討していきたい。

アクセス言語は、日本語ユーザーが 96%を占めているが、英語ユーザーが 3%おり、当サイトの外国語ページのアクセス数は、2022 年は英語ページ 4,751 件・ベトナム語 2,023 件・やさしい日本語 1,095 件・中国語 892 件であったが、2023 年は英語ページ 7,533 件・ベトナム語 1,986 件・やさしい日本語 1,489 件・中国語 1,198 件と増加傾向にあった。2022 年 10 月 11 日に外国人の新規入国制限の見直しがあったことから、訪日外国人観光客が増加しており、日本での HIV 検査に関心をもたれていることが示唆された。

保健所等への HIV 検査相談に関するアンケート調査では、当サイトを閲覧したことがある担当者は保健所で 93%、特設検査施設で 88%、当サイトが HIV 検査相談事業に役立っていると回答した担当者は保健所で 76%、特設検査施設で 82%であった。昨年度は閲覧したことがある担当者は保健所 90%、特設検査施設で 100%、当サイトが HIV 検査相談事業に役立っていると回答した担当者は保健所で 63%、特設検査施設で 88%であり、保健所では昨年度と比較して閲覧経験と事業に役立っていると回答した担当者の割合が増加しており、保健所検査が再開したものによると思われた。一方、特設検査施設では各割合が減少しており、担当者の変更等も考えられることから、当サイトの周知に努めていきたい。

当サイトは HIV 検査研究班の公式サイトとして 2001 年に開設し、2023 年末までに約 2,780 万件のアクセスがあった。全国の保健所等 HIV 検査相談施設の情報を提供するとともに、HIV/エイズ情報提供ページとしても機能している。また、当サイトは自治体の HIV/エイズ情報媒体、日本

赤十字社の献血者への配布文書、啓発用パンフレット等、多方面で紹介され、行政的にも有効活用されている。今後も正確で最新の HIV 検査情報を提供していくとともに、更なる HIV/エイズの理解促進と、受検アクセスの向上に寄与していきたい。

E.結論

効果的な HIV 検査の普及啓発の一助として、ウェブサイト「HIV 検査・相談マップ」(<https://www.hivkensa.com>)を運営し、保健所等 HIV 検査相談施設の最新情報や HIV 検査に関する基礎知識等の情報を継続的に提供するとともに、そのアクセス解析から、利用状況や閲覧ページの動向等を調査した。また、近年の梅毒感染者の急増状況への対応として、性感染症検査の施設情報検索や知識普及を目的としたウェブサイト「性感染症検査・相談マップ」(<https://www.stikensa.com>)を新たに作成し、2024 年 3 月に公開を行った。

2023 年のウェブサイト「HIV 検査・相談マップ」(<https://www.hivkensa.com>)への訪問数は、約 118 万件であり、前年と比較して 5%の増加となった。その要因としては、新型コロナウイルス感染症が 2023 年 5 月に 5 類感染症へ移行したことにより保健所等 HIV 検査の再開が進んだことが考えられた。2023 年の保健所等 HIV 検査の中止・縮小割合は、3 月末時点では HIV 検査施設数で 12%であったが、12 月末時点では 1%にまで低下した。

保健所等アンケート調査結果から、保健所では昨年度と比較して閲覧経験と事業に役立っていると回答した担当者の割合が増加していた。今後も保健所等 HIV 検査相談事業に寄与することにより、HIV 検査希望者への受検サポートに努めたい。

(サイト URL・掲載情報転載依頼)

1. 埼玉医科大学、セクシャリティ教育教材に当サイト URL を紹介
2. 東海大学、小冊子「セクシャルマナー読本」に当サイト URL を紹介
3. ジェクス株式会社、冊子「LOVE GUIDE BOOK」に当サイト URL を紹介
4. 宮崎市保健所、動画「今、梅毒が流行中?」、「もしかして?と思ったら」、画像「口の中に出る症状」、「皮膚に出る症状」をみやざきアートセンターでの梅毒・HIV の普及啓発及び検査会場で展示
5. 厚生労働省、出入国在留管理庁で作成の資料「一元的相談窓口 Q & A」に当サイト URL を紹介
6. ルナドクター株式会社 帝国衛生検査所、郵送性病検査「FemCEHCK」での陽性結果画面表示ページに当サイト URL を紹介
7. 国立国際医療研究センター医療情報室、ACC ウェブサイトリンク集に当サイト URL を紹介
8. 厚生労働省、肝炎予防啓発リーフレット「知って、肝炎」で当サイト URL を紹介
9. 集英社 SPUR.JP、記事「性感染症になってしまったかも」と不安になったら、で当サイト URL を紹介
10. 株式会社 TENGA、性病予防リーフレットで当サイト URL を紹介
11. メディア株式会社、ポケットブック+ウェブサイト「歯科衛生士パスポート Web」で当サイト URL を紹介

F.健康危険情報

なし

G.研究発表

1. 論文発表

なし

2.学会発表

- 1) 佐野貴子、近藤真規子、須藤弘二、櫻木淳一、今井光信、加藤眞吾、今村顕史、民間臨床検査センターにおける HIV 検査等の実施状況および確認 IC 法検査試薬導入に関する調査、第 37 回日本エイズ学会学術集会・総会、2023 年 12 月 3-5 日、京都。
- 2) 須藤弘二、佐野貴子、近藤真規子、今井光信、今村顕史、加藤眞吾、HIV 郵送検査に関する実態調査 (2022)、第 37 回日本エイズ学会学術集会・総会、2023 年 12 月 3-5 日、京都。
- 3) 浅野真、高野政志、石橋理子、佐野貴子、瀬戸理玄、谷村憲司、多田和美、松田秀雄、桃原祥人、森實真由美、榎本美喜子、藤田綾、出口雅士、吉野直人、高橋尚子、杉浦敦、田中瑞恵、北島浩二、山田里佳、林公一、喜多恒和、啓発資料事前配布による妊娠初期女性の HIV 感染・性感染症に対する理解度調査、第 37 回日本エイズ学会学術集会・総会、2023 年 12 月 3-5 日、京都。
- 4) 菊地正、西澤雅子、小島潮子、大谷眞智子、Lucky Runtwene、椎野禎一郎、豊嶋崇徳、伊藤俊広、林田庸総、潟永博之、岡慎一、古賀道子、長島真美、貞升健志、佐野貴子、近藤真規子、宇野俊介、谷口俊文、猪狩英俊、寒川整、中島英明、2022 年の国内新規診断未治療 HIV 感染者・AIDS 患者における薬剤耐性 HIV-1 の動向、第 37 回日本エイズ学会学術集会・総会、2023 年 12 月 3-5 日、京都。
- 5) 佐野貴子、豊倉いつみ、渡邊大地、政岡智佳、稲田貴嗣、鈴木理恵子、渡邊寿美、櫻木淳一、多屋馨子、神奈川県内の水痘入院

例患者から検出された水痘帯状疱疹ウイルスのワクチン株と野生株の分別. 第 37 回関東甲信静支部ウイルス研究部会、2023 年 9 月 28-29 日、東京.

- 6) 小松洋介、清水博之、佐野貴子、多屋馨子、山田壮一、遠坂崇、田中嵩人、坂田雄祐、待鳥航、落合雄人、小堀大河、佐藤睦美、伊藤淳、小郷寛史、中村智子、松田基. 水痘ワクチン株により播種性帯状疱疹を発症した 11 歳女児例. 第 126 回日本小児科学会学術集会、2023 年 4 月 14-16、東京.

H.知的所有権の出願・登録状況（予定を含む）

なし

図1

サイト掲載の施設情報、検査イベント情報、
情報修正依頼件数

掲載・修正依頼	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
施設情報	647	652	657	661	663
検査イベント情報	145	46	69	113	163
情報修正依頼	420	344	351	285	421

図2 性感染症検査・相談マップの新規開設(2024年3月)

サイトURL <https://www.stikensa.com>



図3 地域ブロック別の中止・縮小割合(自治体数)

地域ブロック	2023年 掲載自治体数	2020年				2021年				2022年				2023年			
		3月末時点	5月末時点	9月末時点	12月末時点	3月末時点	5月末時点	9月末時点	12月末時点	3月末時点	5月末時点	9月末時点	12月末時点	1月末時点	3月末時点	5月末時点	12月末時点
北海道	5	0%	60%	40%	60%	20%	40%	20%	0%	0%	20%	20%	20%	20%	20%	0%	0%
東北	15	0%	27%	20%	20%	53%	53%	60%	40%	53%	40%	47%	20%	20%	20%	13%	7%
関東甲信越 (うち1都3県)	56 (42)	31% (33%)	76% (91%)	49% (52%)	46% (52%)	46% (52%)	50% (55%)	73% (74%)	43% (43%)	61% (60%)	46% (45%)	55% (52%)	30% (24%)	32% (26%)	32% (26%)	14% (12%)	2% (2%)
北陸	6	0%	33%	33%	17%	17%	17%	33%	17%	33%	17%	17%	0%	0%	0%	0%	0%
東海	13	42%	92%	67%	67%	54%	54%	77%	38%	69%	54%	62%	31%	31%	23%	8%	0%
近畿	24	17%	67%	33%	17%	21%	42%	38%	21%	33%	25%	33%	25%	25%	17%	4%	0%
中国/四国	19	5%	42%	32%	21%	26%	32%	32%	16%	37%	32%	37%	21%	21%	11%	5%	5%
九州/沖縄	18	33%	61%	50%	39%	33%	17%	44%	33%	39%	28%	28%	22%	22%	22%	17%	0%
総計	156	21%	61%	42%	36%	38%	42%	55%	32%	48%	37%	44%	25%	26%	22%	10%	2%

図4 地域ブロック別の中止・縮小割合(自治体数)

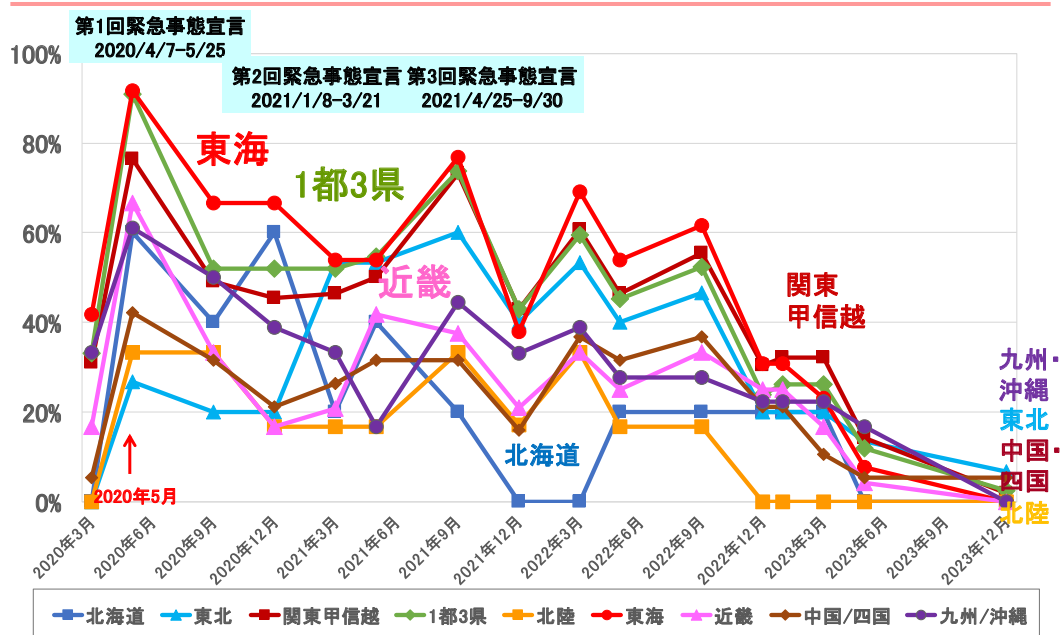


図5 地域ブロック別の中止・縮小割合(施設数)

地域ブロック	2023年 掲載 施設数	2020年				2021年				2022年				2023年			
		3月末 時点	5月末 時点	9月末 時点	12月 末 時点	3月末 時点	5月末 時点	9月末 時点	12月 末 時点	3月末 時点	5月末 時点	9月末 時点	12月 末 時点	1月末 時点	3月末 時点	5月末 時点	12月 末 時点
北海道	40	0%	33%	30%	30%	3%	30%	5%	0%	0%	3%	3%	3%	3%	3%	0%	0%
東北	57	0%	12%	10%	13%	29%	26%	27%	19%	31%	26%	24%	17%	18%	18%	11%	2%
関東甲信越	173	11%	44%	26%	22%	23%	25%	46%	20%	30%	28%	36%	22%	23%	18%	6%	1%
(うち1都3県)	(114)	(13%)	(63%)	(33%)	(32%)	(32%)	(33%)	(59%)	(27%)	(34%)	(33%)	(40%)	(26%)	(27%)	(21%)	(6%)	(1%)
北陸	22	0%	9%	9%	5%	5%	5%	9%	5%	9%	5%	5%	0%	0%	0%	0%	0%
東海	59	10%	55%	38%	38%	12%	46%	61%	8%	63%	29%	54%	7%	7%	5%	2%	0%
近畿	79	7%	40%	13%	5%	10%	16%	15%	10%	13%	9%	13%	10%	10%	6%	1%	0%
中国・四国	73	1%	20%	13%	14%	9%	19%	11%	8%	22%	11%	12%	7%	7%	4%	3%	1%
九州・沖縄	86	12%	29%	20%	21%	13%	8%	15%	7%	13%	16%	28%	19%	19%	19%	19%	0%
総計	589	7%	33%	21%	19%	16%	22%	29%	12%	25%	19%	26%	14%	14%	12%	6%	1%

図6 地域ブロック別の中止・縮小割合(施設数)

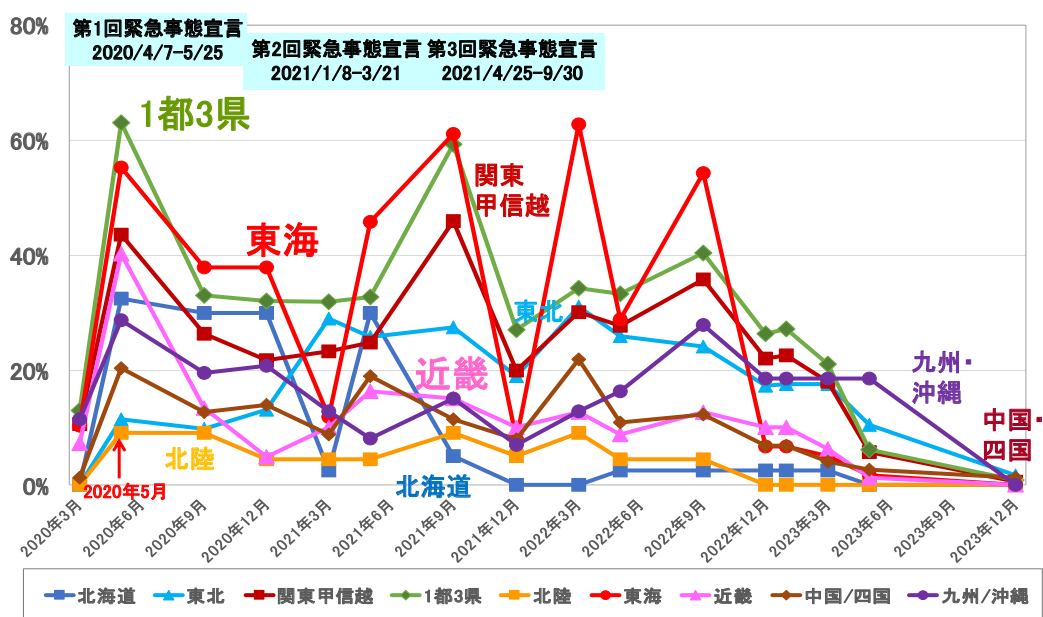


図7

サイトアクセス数（2001年-2023年）

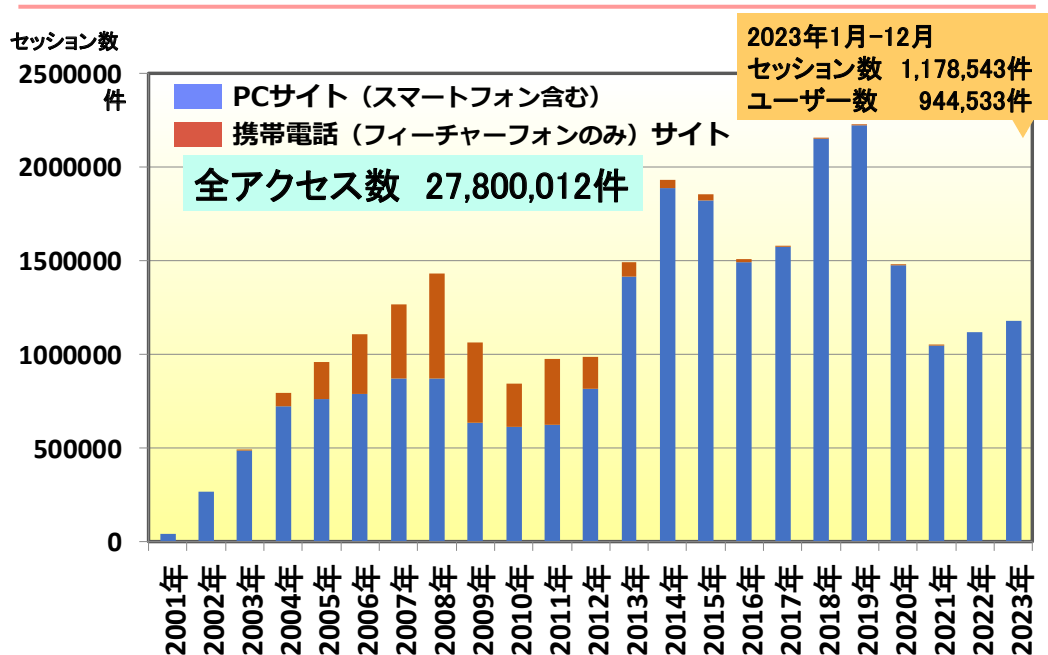


図8

セッション数とユーザー数（2019年-2023年）

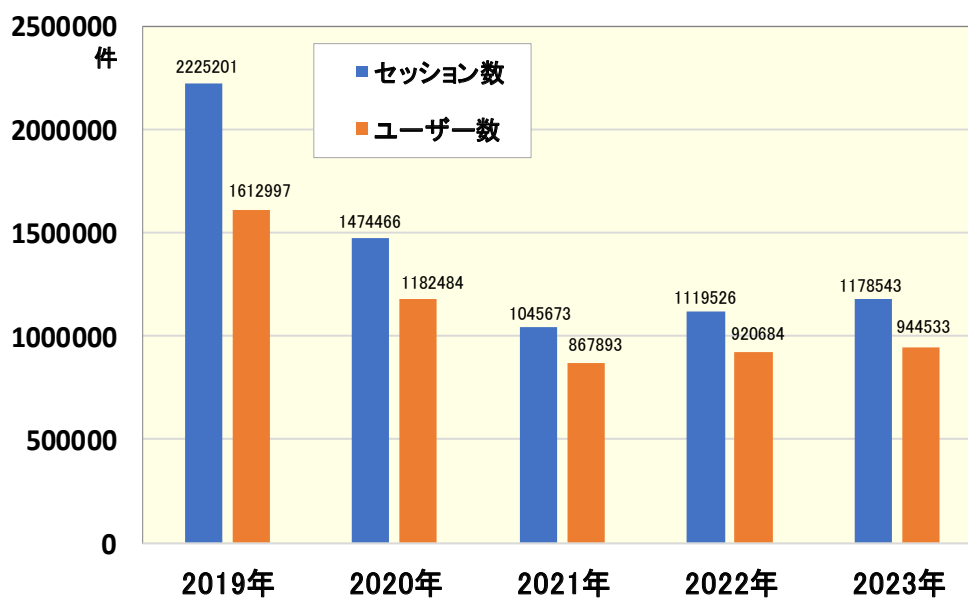


図9

月別アクセス数の推移 (2018年-2023年)

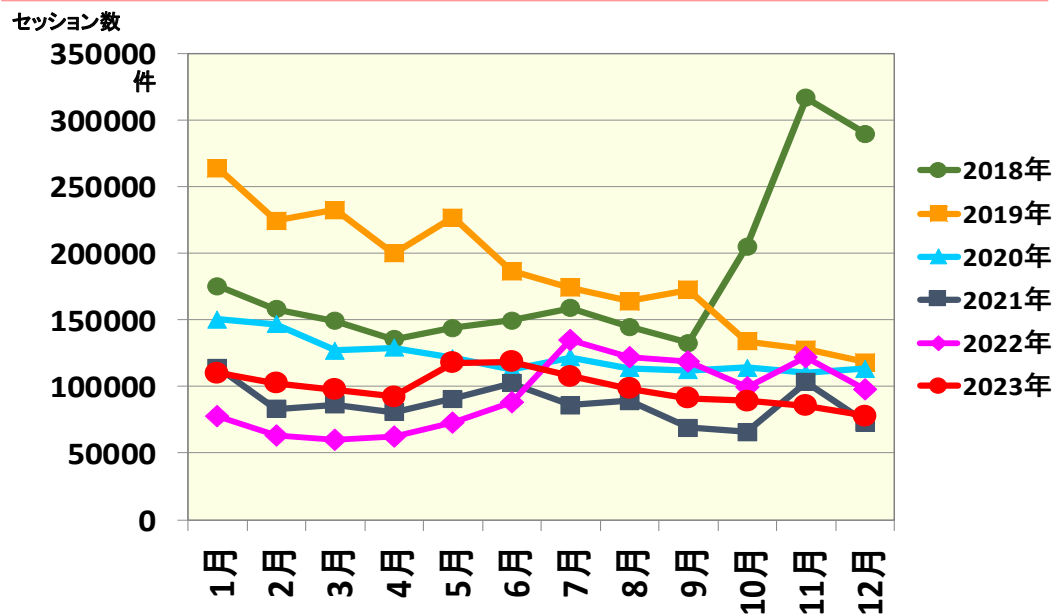


図10

日別ユーザー数 (2023年)

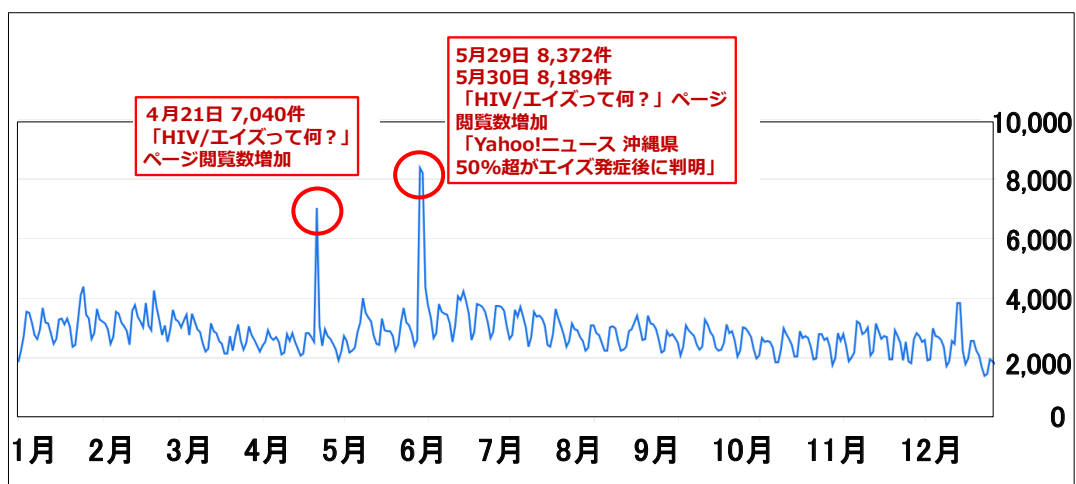


図11

情報端末別ユーザー数の割合 (2023年)

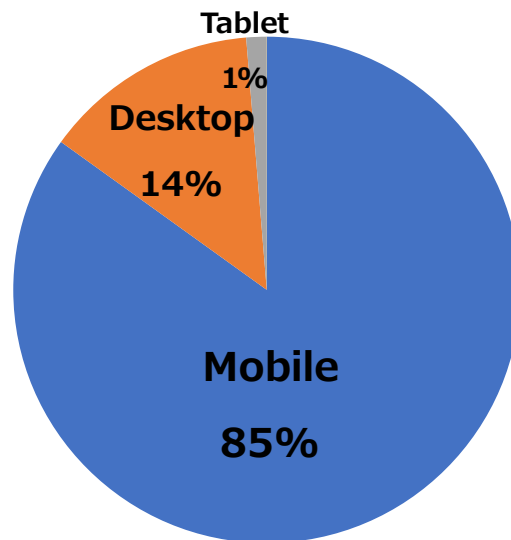


図12

チャネル別ユーザー割合 (2023年)

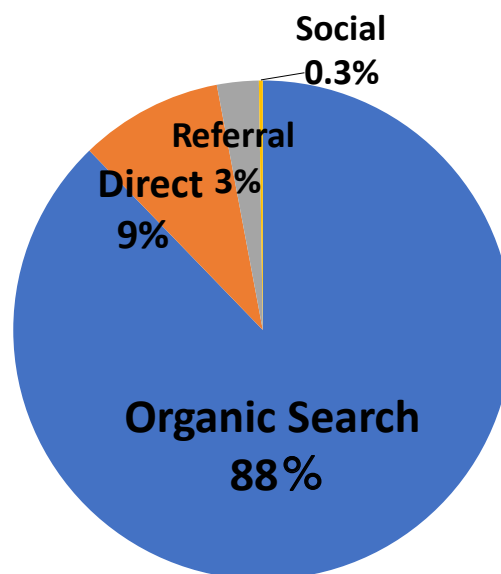


図13

検索エンジン 検索クエリ別月別検索順位 (Google)

検索クエリ	Google件数 (2024年1月)	2023年											
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
HIV	2,000,000,000	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
エイズ	7,080,000	2	1	1	1	1	2	1	1	2	2	2	3
AIDS	2,140,000,000	4	4	5	5	3	2	3	3	4	5	6	6
HIV 検査	3,260,000	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
エイズ 検査	2,090,000	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
HIV test	763,000,000	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
HIV 検査 キット	358,000	7	5	4	5	7	4	5	5	7	8	11	9
性病	36,000,000	4	4	4	5	3	3	4	4	3	2	2	2
梅毒	15,800,000	9	43	48	54	45	55	55	39	34	36	25	20

(PC版 検索順位チェックツールGRCで解析)

図14

検索エンジン 検索クエリ別順位 (Google)

(2023年)

順位	検索クエリ	クリック数	平均掲載 順位
1	hiv	32,425	2.4
2	エイズ	30,872	2.5
3	hiv 検査	16,477	1.1
4	エイズとは	16,189	2.3
5	hivとは	16,167	2.3
6	性病検査	12,564	6.3
7	性病	12,351	4.8
8	エイズ症状	9,728	5.4
9	hiv 心配しすぎ	8,216	3.8
10	性病検査 無料	6,006	3.1

図15

参照元からのユーザー数 (2023年)

	参照元	ユーザー数
1	Google 検索	655,598
2	Yahoo! JAPAN 検索	152,596
3	Direct access	86,762
4	ドコモ 検索	8,395
5	bing 検索	7,727
6	症状検索エンジン ユビー	2,703
7	au 検索	2,554
8	X (旧Twitter)リンク	1,742
9	厚生労働省	1,484
10	世田谷区	954
11	楽天 ウェブ検索	892
12	エイズ予防情報ネット(API-Net)	796

図16

サイトコンテンツの表示回数 (2023年)

表示回数全体 2,028,811件

	サイトコンテンツ	表示回数
1	全国検索結果一覧	387,666
2	HIV・エイズって何？	310,734
3	これって、性感染症？	252,928
4	トップページ	215,052
5	HIV検査まめ知識	67,706
6	検査・相談施設を探す	67,168
7	HIV検査Q&A	46,360
8	梅毒って、なに？	30,283
9	検査イベント情報	28,177
10	chotCAST (大阪検査相談・啓発・支援センター)	21,705

図17

検査・相談施設別表示回数（2023年）

検査・相談施設		表示回数
1	chotCAST(大阪検査相談・啓発・支援センター)火・木・土・日曜日検査	21,705
2	東京都新宿東口検査・相談室	11,512
3	札幌市中央保健センター	8,162
4	神戸市保健所(検査会場:三宮センタープラザ西館6階)	7,484
5	福岡市博多区保健福祉センター	5,353
6	池袋保健所	4,636
7	大阪市中央区保健福祉センター	3,942
8	仙台市HIV・梅毒夜間即日検査	3,938
9	和歌山市保健所	3,917
10	鹿児島市保健所 中央保健センター	3,817
11	新宿区保健所健診会場	3,803
12	愛知県衣浦東部保健所	3,651
13	さいたま市HIV即日検査	3,584
14	プライベートケアクリニック東京 新宿院	3,570
15	静岡県東部健康福祉センター(東部保健所)	3,496

図18

アクセス地域およびアクセス言語（2023年）

アクセス国	ユーザー数	アクセス言語	ユーザー数
Japan	929,659	Japanese	907,943
United States	2,684	English	25,107
China	2,088	Chinese	6,167
Thailand	1,833	Vietnamese	2,156
Indonesia	989	Korean	751
Australia	750	Portuguese	672
France	715	French	411
Vietnam	710	Spanish	316
South Korea	685	Indonesian	186
Canada	626	German	180

図19

外国語ページの表示回数（2023年）

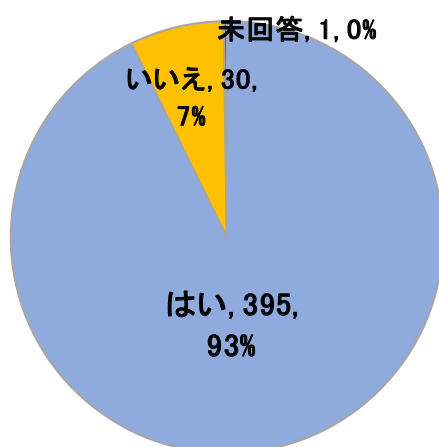
言語	表示回数
英語	7,533
ベトナム語	1,986
やさしい日本語	1,489
中国語	1,198
ポルトガル語	673
タイ語	295
スペイン語	164
タガログ語	144
韓国語	49

図20

(2023年)

ウェブサイト「HIV検査・相談マップ」を ご覧になったことはありますか？

(保健所426件中)



(特設検査施設17件中)

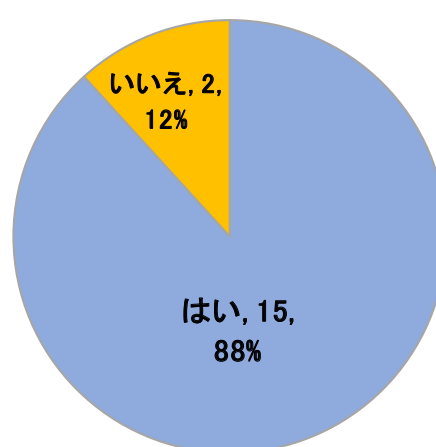


図21

(2023年)

「HIV検査・相談マップ」は検査相談事業に役立っていると思いますか？

